

「電力技術交流会」を開催しました

平成28年10月27日公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所(以下、鉄道総研)は、「電力技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成28年10月21日に電力技術分野の研究開発成果、特に開発製品やサービスをご紹介する事を目的として「電力技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に52社、187名の方にご参加いただきました。講演会では、電力技術研究部長兎東哲夫による展望講演「電力技術の将来展望」のほか、近い将来の実用化を目指して現在取組中の研究から既に開発済みの成果まで7件をご紹介いたしました。講演後には野外測定時における測定システムの調整に関しての質疑等がありました。講演会に続いて行われたミニセッションでは、各講演件名に関してパネルや模型などを用いてより具体的にご説明し、ご来場者との間で技術的な質疑や実用化に関する意見交換を行いました。また、技術交流会に先立ち、パンタグラフ総合試験装置など5設備を対象とした実験設備見学会も行いました。

記

- 1. 開催日時: 平成28年10月21日(金)14時30分から17時55分
- 2.場 所:鉄道総研 国立研究所 講堂、インタラクションスクエア
- 3. プログラム
 - ●講演会

「開会の挨拶」

事業推進部 部長 舘山 勝

(1)「変圧器の寿命判定法」

電力技術研究部を電・主任研究員・ホーストー・ホーストー・ホーストー・ホーストー・ホーストー・オーストー

(2)「超電導磁気軸受を用いたフライホイール蓄電装置の開発」

浮上式鉄道技術研究部 低温システム 研究室長 小方 正文

(3)「架線着霜の予測手法」

(4) 「超電導き電ケーブル」

研究開発推進部 担当部長 兼 材料技術研究部 超電導応用 研究室長 富田 優

(5)「曲線引金具のひずみ計測によるパンタグラフすり板の段付摩耗検知手法」

鉄道力学研究部 集電力学 副主任研究員 小山 達弥

(6)「離線測定と目安値」

電力技術研究部電車線構造 主任研究員 早坂 高雅

(7)「電車線の非接触測定技術」

電力技術研究部集電管理主任研究員根準の表現を表現しています。

(8)「電力技術の将来展望」

電力技術研究部の研究部長の現象を表現している。

- ●ミニセッション
 - (1) 架線着霜の予測手法
- (2) 超電導き電ケーブル
- (3) 離線測定と目安値
- (4) 変圧器の寿命判定法
- (5) 超電導磁気軸受を用いたフライホイール蓄電装置の開発
- (6) 曲線引金具のひずみ計測によるパンタグラフすり板の段付摩耗検知手法
- (7) 電車線の非接触測定





写真 講演会の様子(於 鉄道総研講堂)



写真 ミニセッションの様子(於 鉄道総研インタラクションスクエア)